

23. 林業労働安全

1 試験担当者

機械化部作業第1研究室：辻 隆造，石井邦彦，桑原正明

2 試験目的

国有林事業における林業労働災害発生件数は、非常に多いので、その原因を追求して林業労働の災害防止に対する基礎資料をうる。

3 昭和43年度の経過とえられた結果

1 集団の人間関係について

集団のモラール、性格、欲求が災害と関連があるといわれている点から、帯広営林局管内でトラクタ集材作業における集団のモラール、性格と、各作業員の災害経歴を併せ調査した。

2 新しく改正された伐木造材作業基準、集材機作業基準について、その実行が容易に行なわれるよう、現地での実態を調査し、その解説書を作成した。

3 集団の人間関係についての資料数が不足で、一定の結果はつかみえなかつたが、集団のモラールと集団性格の間には、今までの調査結果と同じように、高い相関がみられた。災害との関連については個人の性格と災害頻発者の関係で若干の知見を得た。

4. 伐木造材作業基準解説書
集材機作業基準解説書

4 昭和44年度試験計画

1 伐木造材作業については、作業姿勢を分析し、作業位置、機械の保持角度の検討

2 集材機作業については、運転手に及ぼす振力、騒音の影響を調査し、その防止対策を検討する。

また、運転席と機械据付位置の関係を検討する。

3 職場集団のモラールと集団を形成する成員の集団性格を求め、災害との関連を究明する。